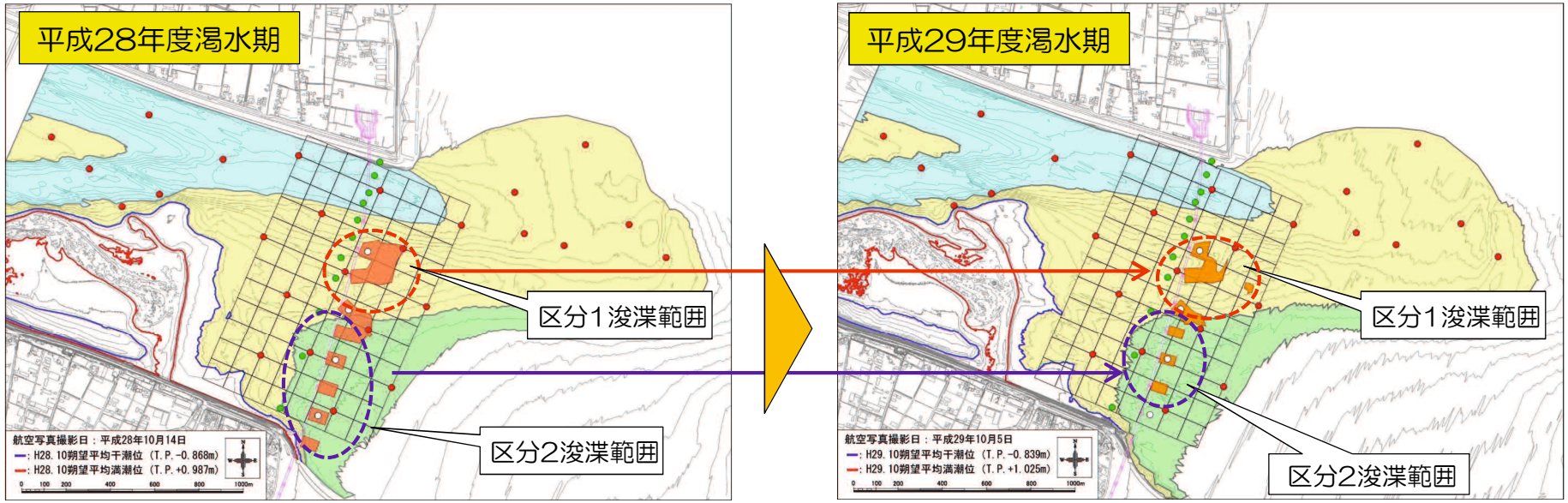
■浚渫の影響評価　～区分1と区分2における影響値の減少について～

平成29年度渇水期は、平成28年度渇水期に比べて区分1、区分2ともに浚渫面積が減少したため、両区分とも影響値が減少した。



区分	ハビタット面積（m^2）	平成28年度渇水期	
		浚渫面積（m^2）	割合（%）
区分1	1,717,321	37,313	2.2
区分2	406,126	33,252	8.2
区分3	682,346	0	0.0

区分	ハビタット面積（m^2）	平成29年度渇水期	
		浚渫面積（m^2）	割合（%）
区分1	1,702,033	25,200	1.5
区分2	417,098	13,374	3.2
区分3	661,271	0	0.0

区分1、区分2ともに前年度渇水期に比べて浚渫面積が減少し、それに伴い影響値も両区分とも減少